



少人数学級を速やかに実施することを求める意見書を
国に提出することを求める陳情



【陳情項目】

少人数学級を速やかに実施することを求める意見書を国に提出してください。

【陳情理由】

新型コロナウイルスの影響で2月末に全国一斉休校の要請が出され、藤沢市は3月から休校となりました。一斉休校を経て、その後分散登校など感染対策に注意しながら学校生活が再開されました。

再開してからも子どもや保護者、先生をはじめ、子どもたちに関わる教職員の方々には不安を感じています。40人学級では子どもの感染を防ぐための身体的距離も取れません。これから子ども達へ必要となるケアや、学習の遅れへの対応も、現行の人数のままでは難しいと思います。

今回の分散登校中の少人数授業で一人一人の顔がよく見えること、授業がよくわかるということを教師も子どもも実感しました。全国知事会会長・全国市長会会長・全国町村会会長の連名で『新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言』(7月3日)の中でも少人数学級の実施を求めています。

また、16道県を含む534の地方議会で意見書が採択されています。藤沢市でも子育てしやすい街・子育てにやさしい街にふさわしい市になるように、意見書を提出するように求めます。

2020年11月20日

藤沢市藤沢1049大矢ビル
新日本婦人の会藤沢支部
代表 望月 知子



藤沢市議会議長
加藤 一 様